

ビジネスをサイエンスする

2018

創立102年目の挑戦!



長野県赤穂高等学校 商業科通信

vol.116

経済社会で役立つスキルを身につける

地域社会の問題を考え貢献する

困難な課題を突破する力を育てる



おめでとーいーげーいすー!

今年の『伊那まつり』の『うちわ』デザインに
商業科3年課題研究『広告と販売促進』講座の
3年B組木村琴美さんの作品が
選ばれました!

信濃毎日新聞 5月17日(木)掲載

長野日報 5月17日(木)掲載

8月の「伊那まつり」
Tシャツ・うちわ
デザイン決まる

8月4、5日に伊那市で開かれる「伊那まつり」の実行委員会は16日、今年のTシャツ、うちわのデザインを審査した。実行委員らは投票などで選び、「Tシャツは同市西町の会社員真美さん(25)、うちわは赤穂高校(駒ヶ根市)3年木村琴美さん(17)の作品」と描いている。

デザインは公募し、Tシャツは6人から6点、うちわは10人から11点が集まった。販売するTシャツは6月上旬に予約受け付けを開始する。伊那まつりは、前週の勤労感謝の日(11月23日)から11月25日まで、3日間開催される。

「Tシャツのデザインに決まった唐沢真美さんの作品」
「うちわのデザインに決まった木村琴美さんの作品」

伊那まつりのTシャツ、うちわ
採用デザイン決まる
実行委

7月30日に表彰式

伊那市の第61回伊那まつり(8月4、5日)の実行委員会は16日、今年の祭り用の公式Tシャツと、うちわのデザインを決めた。公募作品の中からTシャツは唐沢真美さん(25)、「伊那市西町」の赤穂高校3年の木村琴美さん(17)、「駒ヶ根市」の作品を採用した。(勝村誠)

市内中心に呼び掛けた唐沢真美委員長と実行委員は、Tシャツには6人から6点、うちわには10人から11点の作品が寄せられた。この日は、選ばれたTシャツは、今回

前連する積極的なイメージをドット柄の龍で表現。Tシャツは青空に浮かぶ雲で「伊那まつり」の文字を現し、地上に咲くヒマワリで夏を演出。Tシャツのデザインは、北原勝史審査委員が「Tシャツのデザインは、今回

のまつりのテーマ「歩」の前連する積極的なイメージをドット柄の龍で表現。Tシャツは青空に浮かぶ雲で「伊那まつり」の文字を現し、地上に咲くヒマワリで夏を演出。Tシャツのデザインは、北原勝史審査委員が「Tシャツのデザインは、今回

うちわは広告掲載で協賛金を募り、協賛者をはじめ踊り連参加者、見物客らに配布。協賛金は、口2万円が6月18日まで受け付け。問い合わせは事務局の市観光課(電話0265-78-4111)内線4136へ。

と評した。Tシャツの予約受け付けは6月1日から開始予定。素材は綿から、乾きやすいものに変更し、価格は今後決める。



第61回伊那まつりのTシャツと、うちわに採用されたデザイン



伊那まつり参加の全ての人々が『木村さんデザインのうちわ』を持ちます。すごいですね!今年の伊那まつりが待ち遠しい!